

# 山口県獣医師会会報

Monthly Report of the Yamaguchi  
Veterinary Medical Association

第 738 号 令和 4 年 11 月

## 第12回全国和牛能力共進会の概要

山口支部 作 間 誠 司

(山口県畜産振興協会)

5年に一度開催される全国和牛能力共進会は、和牛のオリンピックと称され、全国の和牛産地が一堂に会し、産地の名声を掛けて鎬を削る肉用牛関係者等が最も注目する大会です。

山口県からは、種牛の部：第2区（若雌の1、14～17ヵ月未満）に1頭、第3区（若雌の2、17～20ヵ月未満）に1頭、高校及び農業大学の部：特別区（高校及び農業大学校、14～20ヵ月未満）に1頭、肉牛の部：第7区（脂肪の質評価群、24ヵ月未満）に3頭、第8区（去勢肥育牛、24ヵ月未満）に1頭の、合計7頭を出品しました。

### 1 開催概要

#### 【開催のねらい】

本共進会の特徴は、日常の登録事業を通じて、時代の要求に応じた形で和牛改良を進めていくため、改良上の狙いを出品区の設定に盛り込み、本共進会に取り組むことによって、将来に繋がる優秀な素材を生産及び発掘し、これを出品することによって、その成果を確認し、全共後に引き継いでいくことにあります。

開催テーマ 「和牛新時代 地域かがやく和牛力」

主 催：公益社団法人 全国和牛登録協会

開催期間：令和 4 年 10 月 6 日（木）

～令和 4 年 10 月 10 日（祝・月）

会 場：種牛の部 鹿児島県霧島市牧園町

霧島高原国民休養地周辺

肉牛の部 鹿児島県南九州市知覧町

(株)JA食肉かごしま南薩工場

出品頭数：41 道府県：種牛 248 頭、肉牛 166 頭、  
特別区 24 頭、合計 438 頭

### 2 山口県の取組

本大会への出品に向け平成30年10月に、山口県第12回全国和牛能力共進会対策協議会（構成員：山口

県、JA山口県、山口県畜産振興協会、山口県農業共済組合、地区対策協議会）を設立し、「心一つに未来を紡ぐ やまぐち和牛」をテーマに掲げ、関係者が一体となって和牛改良成果を確認するとともに、やまぐち和牛のブランド力の向上と情報発信に取り組みました。

#### (1) 山口県代表牛の選抜

##### ○種牛の部

繁殖雌牛の分娩間隔や育種価等の出品条件をクリアした母牛から生産された出品候補雌牛について、令和4年2～3月の地区予選会、山口中央家畜市場における令和4年4月の集合研修会、令和4年7月11日の最終予選会を行い、第2区は、「勝海」号産子を、第3区は「殿池久」号産子を選出しました。

##### ○肉牛の部

令和3年4月の山口中央家畜市場における繁殖農家から肥育農家への出品候補牛の子牛幹旋会、令和3年8月の予備調査、令和3年12月、令和4年4月、令和4年6月の出品候補去勢牛を肥育している農家の巡回調査を踏まえて、令和4年7月11日の最終予選会で、第7区は「花清桜」号産子3頭を、第8区は「殿池久」号産子1頭の選出を発表しました。

##### ○高校及び農業大学の部

繁殖雌牛の出品条件をクリアした母牛から生産された出品候補雌牛について、山口中央家畜市場における令和4年4月の集合研修会、令和4年7月11日の最終予選会を行い、「百合美津福」号産子を選出しました。

#### (2) 代表牛飼養者激励訪問

県対策協議会では、令和4年9月に出品牛を飼育している繁殖農家と肥育農家を巡回し、激励を行うとともに、粗品と牛衣を贈呈しました。

#### (3) 全共出發式

令和4年10月4日に山口中央家畜市場において、山口県知事村岡嗣政様をお招きし、山口県議会農林

## 令和4年度獣医公衆衛生講習会(市民公開講座)のご案内

下記のとおり開催します。多くの皆様の参加をお待ちしています。

※最終ページに参加者募集チラシを掲載します

○開催日時：令和4年12月11日(日) 13時30分～15時30分

○演 題：「ヒトとイヌのつながり」

○講 師：麻布大学 獣医学部 介在動物学研究室 教授 菊水健史先生

○会 場：防長苑（山口市熊野町）

○参加申込：令和4年12月1日(木)までに事務局に申し込んでください。

○参加費：市民公開講座として開催しますので、会員以外の方も参加費は無料です

水産委員長の西本健治郎様や農林水産副委員長の山手康弘様他多数の来賓出席のもと、出発式が開催されました。

村岡知事の激励挨拶に続き、出品者に対し県対策協議会副会長の金子光夫様からのユニフォーム贈呈、県対策協議会会長の高橋博史様からの牛衣贈呈が行われ、出品者を代表して、畜産の担い手育成の観点から新たに創設された「高校及び農業大学の部」の山口県立農業大学の齋藤一暉氏からの宣誓がありました。

**(4) 現地激励会**

令和4年10月7日、宿泊場所であるホテルにおいて、山口県農林水産部の部次長秋山公志様による挨拶と祝儀の贈呈、出品者を代表して青木洋二様の挨拶、県対策協議会副会長の金子光夫様の乾杯が行われ、終わりに県対策協議会副会長の堀覚様の一本締めで幕を閉じました。

**(5) 現地の取り組み**

種牛の部と高校及び農業大学の部への出品者と関係者は、開会3日前から大会期間を通して毎朝5時20分に宿泊ホテルからシャトルバスに乗り、出品牛飼育牛舎へと向かい、飼料と水の給与、引き運動、出品牛のシャンプーと手入れを行い、審査に備えました。

肉牛の部への出品者は、10月8日には出品牛の枝

肉確認、10月9日には枝肉のセリ状況を確認しました。

**3 山口県からの出品と成績の詳細**

表1のとおり

**4 催事への参加**

**(1) 和牛振興エリア**

29道県が参加する全国銘柄牛試食コーナーへ出展し、10月7日と8日に「やまぐち和牛燦（きらめき）」のPRのための試食用和牛焼肉600人分を用意し、整理券を求めるとの行列ができる中、大盛況のうちに終了することができました。

**(2) 道府県PRエリア**

41道府県が参加する道府県PRエリアへ出展し、パンフレット配布と解説による山口県農林総合技術センター畜産技術部が造成している種雄牛のPRや県内観光地等のPRを行いました。

県外の畜産関係者は、新たな種雄牛に興味津々で、一方一般観覧者からは、山口県の観光地には是非訪れたいとの声が聞きました。

関係者の皆さんお疲れ様でした。

**5 全国和牛能力共進会全体成績**

表2のとおり

表1 山口県からの出品と成績の詳細

| 出品区分             | 県代表牛          |               |        | 成績     |
|------------------|---------------|---------------|--------|--------|
|                  | 住所            | 出品者           | 牛の名号   |        |
| 種牛の部             | 第2区           | 山口市 青木 洋二     | めい     | 1等賞8席  |
|                  | 第3区           | 下関市 池田 治      | いけこ    | 1等賞6席  |
| 肉牛の部             | 第7区 (3頭1群)    | 山口市 (株)福嶋牧場   | 山阪花    | 優等賞12席 |
|                  |               | 山口市 (有)三宅牧場   | 武清     |        |
|                  | 第8区           | 岩国市 (有)岩国ファーム | 岩国花清3  | 2等賞    |
|                  |               | 岩国市 森田 真二     | 七十三郎   |        |
| 高校及び農業大学の部 (特別区) | 防府市 山口県立農業大学校 | えこ            | 優等賞20席 |        |

表2 全国和牛能力共進会全体成績

名誉賞：種牛の部 第4区 鹿児島県  
肉牛の部 第7区 宮崎県

| 出品区分           | 生後月齢      | 優等1席県名         |
|----------------|-----------|----------------|
|                |           |                |
| 第1区 若雄         | 15～23ヵ月未満 | 鹿児島県           |
| 第2区 若雌の1       | 14～17ヵ月未満 | 大分県            |
| 第3区 若雌の2       | 17～20ヵ月未満 | 宮崎県            |
| 第4区 繁殖雌牛群      | 3産以上      | 鹿児島県           |
| 第5区 高等登録群      | 14ヵ月以上    | 鹿児島県           |
| 第6区            | 総合評価群：種牛群 | 17～24ヵ月未満      |
|                | ：肉牛群      | 24ヵ月未満         |
| 第7区 脂肪の質評価群    | 24ヵ月未満    | 宮崎県            |
| 第8区 去勢肥育牛      | 24ヵ月未満    | 鹿児島県           |
| 高校及び農業大学の部 特別区 | 高校及び農業大学校 | 14～20ヵ月未満 鹿児島県 |



村岡副知事をお招きしての全共出発式



種牛の部における審査の様子



道府県PRエリアでの県種雄牛の紹介



和牛振興エリアでのやまぐち和牛燦のPR

## 令和4年度第2回全国獣医師会会長会議ならびに動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day" 出席報告

副会長理事 白 永 伸 行

令和4年9月30日(金)、都市センターホテル(東京都)において公益社団法人日本獣医師会(以下「日獣」)の令和4年度第2回全国獣医師会会長会議に出席しましたので、その状況を報告いたします。(田中会長は地方理事として在任されているので、第1回会長会議に引き続き副会長の小生が出席しました。)

詳細については、前回同様に日本獣医師会雑誌に掲載されると思いますので、ここでは概略の説明にとどめます。

まず始めに日本獣医師会・藏内勇夫会長からの挨拶があり、多忙な中の参加に対する謝意とコロナ第7波の患者減少に転じたため対面で開催となった旨説明、改正動物愛護管理法に基づくマイクロチップ(以下MC)装着/登録の件で貴重な意見を賜ったことへの謝意など情報共有のもと今後も進めていくと表明され、また11月開催予定の第40回日本獣医師会第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会への参加協力の謝意がありました。

次に議長及び副議長が選出され、挨拶がありました。

ついで議事の審議が開始されました。まず説明報告事項として、1) 2022動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"に関する件、2) 第21回アジア獣医師会連合(FAVA)大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会(令和4年度)の開催に関する件、3) 政策提言活動等に関する件、4) 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件の4点でした。1) に関しては会長並びに小生が翌日参加したので後述します。2) に関しては参加登録を延長したので、さらなる呼びかけを依頼したのに続き、議長が藏内会長に意見を求め、FAVA福岡事務所設置に至る経緯、今後の見通し等について藏内会長から福岡事務所設置に至る経緯、アメリカ獣医師会に対してグアム、サイパンもアジア圏であることから、FAVAに入る資格があると話をしたこと、ワンヘルスに特化した活動をやっていきたいこと等の説明がありました。また他獣医師会会長からはWHOと連携した方がいいのでは?ワンヘルス認証制度等を設け、安全マーク等を作成し、新たな収入減としたらいかがか等の提言がありました。3) 4) は会議資料説明でしたが、4) につきましては「マイクロチップ申請の一元化」について国、獣医師会共に検討中であるとのことでしたがこれからいくつかの案を練り込んでいかなければならない印象でした。また他獣医師会からの質疑で「任意の者も一緒

に紙ベースで申請させるのか」については、本会から「アイポに登録がないと法定登録だけでは迷子、災害時等に役に立たないので、できるだけそうしてほしいとのこと、また飼い主から「環境省に照会したところ、『死亡した場合以外は登録消去を認めない』と言われた」とのことであったが如何か?との質問がありましたが、これについては間違いであるとの回答がされました。その他に「手数料の払込取扱票について、払込者ができるだけ便利のように(ただお金を振り込めばいいように)管理番号等については予め印刷してほしい」と意見が出され、管理番号等入れて印刷する旨の回答がありました。さらに地方会の管理について質問があり、現在のしくみをそのまま準用する旨の回答がありました。その他の議題として、愛玩動物看護師法施行に伴う愛玩動物看護師の免許取得に対して意見が交わされ、群馬県獣医師会から講習会ビデオを現在アップロードしているので活用頂きたい好意を披露された(群馬県獣医師会の看護師向け講習会がかつて認定看護師の合格率が100%に近いものであった際に学習効果が高かったものとしてご紹介頂いた)。なお地方会の会員は無料とした。

以降は連絡事項の確認を行い、そのまま**令和4年度全国獣医師会・日本獣医師会関係者事業推進懇談会**を17時から同会場で行った。なお密を避けるため2会場に分断されての開催となった。

今回の第2回会長会議は全体に第1回の懸案であるMCの施行に実際に動き始めて見てきたことへのまとめや、今後施行に対して赤字を生む問題などへ考えた提案が多くなされたことがよかったと思いました。そして質問の時間で他地方会会長から会員離脱と増強に対する抜本的な考えを訪ねられた際に地方会の努力を唯一会員加入率が上昇している岡山県の考えを拝聴したことが印象的でした。

翌10月1日(土)には上野恩賜公園(不忍池周辺)にて2022動物感謝デー in JAPAN "World Veterinary Day"が開催されました。この行事は令和4年度動物愛護週間中央行事と同時開催とあいなりました。午前10時より中央ステージにて開会式が行われ、本会からは田中会長と小生が参加いたしました。まず主催者代表として環境省松本啓朗大臣官房審議官(管理室長代理出席)ならびに藏内日獣会長が挨拶を行い、来賓祝辞として森英介自民党衆議院議員(獣医師問題議員連盟会長代理)、河西宏一公明党衆議院議員、片山さつき自民党参議院議員、自見はなこ自民党参議院議員が順

番に御挨拶を頂戴いたしました。来賓等登壇者紹介や祝電披露ののちに、セーブペットプロジェクト寄付金贈呈式が行われ、日本ゼノアック／ベーリンガーインゲルハイムジャパンから200万円の贈呈があり、藏内会長が代表して受領いたしました。その後に開会宣言として会場内にいた鷹匠が訓練された鷹に宣言文をたずさえて砂原副会長あて飛翔持参するというパフォーマンスがあり、砂原副会長が大会宣言を読み上げ、開会となりました。その後会長と各自で各ブース等を巡回して閉会となりました。

参加した感想をまとめました。開会式では特に片山さつき議員のスピーチが印象的でした。片山議員は10年来にわたり動物看護師の処遇に問題意識を持って頂き藏内会長と共に自民党の調査会では二人三脚で取り組んできたことが本年の法律施行をもって着地したことにあたり、これまでの経緯をおはなしくださいました。また動物病院経営に是非とも愛玩動物看護師という国家資格に見合った報酬を上げてもらうことを切に願うとのことでした。また注目すべきは協賛企業です。従来の獣医業界イベントでは予算規模の大きな外資系製薬や療法食フードなどのメーカーが主な多額スポンサーと思われていましたが、今回、セーブ

ペットプロジェクトの寄付金を贈呈して頂いた(株)ゼノアック(旧日本全薬工業)とともに、猫のおやつが大ヒットの某企業とネット通販最大手の某企業が筆頭として登壇されており、今後の業界の変動を暗示するのではないかと考えたのは私だけでしょうか?

当日は青天で歩き周りにはちょうどよく、各ブースを見て回りましたが、本年度は地方獣医師会の出店等が見合されたためかブース数も少なく、また以前の駒沢オリンピック公園に比べても初めての会場のせいかもしれませんが、来客数も少なく、さらにコロナ禍のため飲食等が禁止されたこともあり、例年来場する先生方に何っても従前より低調の感が否めないとのことでした。

最後に残念な出来事を1つご紹介します。中央会場入り口にいわゆるビーガンを訴える団体が悲しげな音楽を流しながら、動物のと殺に係るポスター等を数多く展示していました。一般の方にとっては目を覆いたくなるような内容に、動物感謝デーをあざ笑うかのような訴えを許してしまっていたので、今後、何らかの対策をする必要がある(会場全体の借り上げ等)と思われました。



開会式藏内会長挨拶



セーブザペットプロジェクト寄付金贈呈式



動物検疫所ブース



JAVS (日本獣医学生協会) による子供達への獣医師体験

# 令和4年度第1回支部長会議開催報告

常務理事 酒井 理

令和4年10月20日(木)午後1時30分から県獣医師会館2階会議室において、令和4年度第1回支部長会議を開催し、今年度事業の実施状況等について協議しました。主な説明・協議内容は次のとおりです。

- 中国地区大会・学会の開催
  - ・本年9月3日(土)、4日(日)、本会の主催により中国地区獣医師大会・獣医学術中国地区学会を開催した
- 狂犬病予防注射実施状況
  - ・今年の集合注射実施頭数は、各支部とも前年に比べ減っており、県全体で約1,300頭減少した
  - ・このため、現在実施している啓発ポスターの作成県の広報誌「ふれあい山口」への掲載等に加え、新たな啓発手段を考える必要がある
- 狂犬病予防事業実施状況調査
  - ・8月に市町の狂犬病予防事業実施状況を調査した
  - ・新たなマイクロチップ(以下「MC」という。)登録による狂犬病予防法の特例制度に参加した自治体が、全国的に狂犬病予防法の犬の登録手数料を徴収しにくい状況となっており、県内の市町も特例措置により狂犬病事業の財源である登録手数料が入らなくなることを懸念している
- 動物の愛護・保護・救護
  - ・「学校飼育動物の保健衛生指導」に43名、「傷病鳥獣保護・救護」に45名の小動物開業獣医師が協力して実施している
- 災害時動物救護・支援
  - ・県生活衛生課との共催で実施した萩市の「ペットとの同行避難訓練」に長北支部の大田支部長等が参加し、被災動物の救護と健康相談を実施した
- 自由民主党山口県連政策聴聞会
  - ・昨年は、「災害時の動物救護」と「勤務獣医師の確保と処遇改善」を要望したが、近年、動物救護に係る県・市町の取組みが進み始めていることから、今年は全国家畜衛生職員協議会から本会への要望を踏まえ、「公務員獣医師及び産業動物診療獣医師の確保と処遇改善」についての要望のみとした

- 国民年金基金制度の周知
  - ・日本獣医師会から、動物病院獣医師など、国民年金の第1号被保険者が対象とされている「国民年金基金制度」の会員への周知について、協力依頼があり、全国国民年金基金と契約を締結し、会報への掲載や資料配付等の協力を行っている
- 県獣医師会館新規取得関係
  - ・今月、昨年度立ち上げた検討会議の第2回目の会議を開催し、取得方法等について検討している
- アジア獣医師会連合(FAVA)大会関係
  - ・11月11日(金)～13日(日)、福岡市で開催されるFAVA大会・学会年次大会には、日本獣医師会が各地方会毎に参加目標を設定し、本県は、35名以上とされた
  - ・このため、学会運営委員会に諮り、本会が参加登録料を助成することとし、参加を呼びかけたところ、42名の会員から参加申込みがあった
- 山口獣医学雑誌
  - ・掲載論文を募集している(期限11月末)
- 分野別講習会
  - ・下表のとおり開催を計画して準備を進めている
- 「チーム獣医療」体制づくり
  - ・「愛玩動物看護師国家試験予備試験」が11月6日(日)に、「愛玩動物看護師国家試験」が令和5年2月19日(日)に開催される
  - ・動物病院等での実務経験を有する現任者が特例措置により国家試験を受けるためには、法の施行から5年以内に、予備試験に合格する必要がある
- 獣医師総合福祉生命共済事業
  - ・動物病院に勤務する獣医師を対象とした掛け金が安い日本獣医師会の生命共済制度を募集している

出席者から、動物病院においてMCを装着した場合、「改正動物愛護管理法に基づく制度」と「AIPPO制度」のどちらを紹介すべきかとの質問があり、MCを装着した場合は、「改正動物愛護管理法に基づく制度」への登録は義務づけされているが、「AIPPO制度」への登録は任意であると説明しました。

## 令和4年度 部会講習会開催計画(案)

| 部会                 | 開催日時                                   | 会場                   | 講師   | 演題                      |
|--------------------|--|----------------------|--|-------------------------|
| 産業動物               | 令和4年<br>11月5日(土)<br>13時30分～<br>15時30分  | 山口市<br>防長苑2階<br>孔雀の間 | (株)微生物化学研究所<br>動物医薬学術室 学術課<br>シニアテクニカルアドバイザー<br>獣医学博士<br><b>加藤敏英先生</b><br>(酪農学園大学特任教授) | 抗菌剤の使用量低減による薬剤耐性対策を目指して |
| 獣医公衆衛生<br>(市民公開講座) | 令和4年<br>12月11日(日)<br>13時30分～<br>15時30分 |                      | 麻布大学獣医学部<br>動物応用科学科<br>伴侶動物学研究室 教授<br><b>菊水健史先生</b>                                    | ヒトとイヌのつながり              |
| 小動物<br>第1回         | 令和5年<br>1月15日(日)<br>10時～16時            |                      | 獣医師 獣医学博士<br>アジア獣医皮膚科専門医<br>「犬と猫の皮膚科」院長<br><b>村山信雄先生</b>                               | 今後、講師と調整                |
| 小動物<br>第2回         | 令和5年<br>2月26日(日)<br>10時～16時            |                      | 日本獣医がん学会認定医<br>獣医腫瘍科認定医Ⅰ種及びⅡ種<br>「松原動物病院」副院長<br><b>小山田和央先生</b>                         | 今後、講師と調整                |

## リレー随筆

美祿支部 水間 なつみ  
(山口県農林総合技術センター畜産技術部)

皆さん、こんにちは。畜産試験場の数少ない女性の先輩である中谷先生より期日ギリギリで(笑)バトンを受け取りました水間と申します。絶賛産休中で約2週間後に帝王切開を控えており、今もお腹の中ではうごうごと騒いでいます。少子化の世の中ではありますが、2つ前のリレー随筆を書かれた西部家保の西本さんや、県酪の富永さん、共済の中常先生、原殿先生、谷口先生のお子様方と同級生になるということで、大変心強く感じております。

さて、今回のリレー随筆では、この産休中、私の故郷である鹿児島で開催された第12回全国和牛能力共進会(和牛フェスinかごしま2022)に行った話を少し書きます。種牛の部が霧島市、肉牛の部が南九州市で開催され、私は霧島市の方に行きました。会場内は審査会場以外に、道府県PRエリアや協賛企業PRエリア、鹿児島県PRエリアなどの多くのブースが並び、大勢の来場者でいっぱいでした。特に審査会場は一般来場者の中には入れないくらい長蛇の列ができていました。各ブースでは、企業の試供品や、各地の名産品の配布を始め、牛肉の試食や直腸検査の疑似体験、種雄牛パネルとの写真撮影など、趣向を凝らした体験コーナーも多くあり、とにかく楽しめる要素がたくさんありました。

私の稚拙な文章では盛り上がり伝わりにくいのですが、会場内は本当に大盛況で畜産業界が活気づいたことは間違いのないと思います。驚いたのは、地元の畜産に関係ない友達も皆このフェスの存在を知っていたことで、県をあげて盛り上げていることが感じられました。最終日には岸田総理と生産者の対談もあり、厳しい情勢の中で頑張っている生産者の声

を直接届けられたことも大変有意義だったと思います。

最後になりましたが、県内から出品された農家さんとそれを支えられた関係者の方々、本当にお疲れさまでした。準備から本番、撤収まで大変だったと思いますが、おかげさまで私たち一般来場者はワクワクした一日を過ごすことができました。ありがとうございました。

次のリレー随筆は、県内の畜産業界で活躍する唯一の大学の同級生である東部地区家畜診療所の水田妙子先生にお願いします。



マスコットキャラクター  
「かごうしママ」と写真撮影

## 新入会員紹介

### はじめまして



はじめまして。この度山口県獣医師会に入会させていただきました宮本と申します。本年4月より宇部健康福祉センターで勤務しています。

私は出身が山口県ですが、宇部市のことはよくわからないため、これから少しずつ開拓していきたいと思っております。

私は日本獣医生命科学大学を卒業しました。学生時代に山口県の公務員実習に参加し、農業獣医師、衛生獣医師の両方の業務を見学させていただきました。獣医師の業務は家畜、食品、動物愛護、薬事、廃棄

宇部厚狭支部 宮本 明奈  
(宇部健康福祉センター)

物等、幅が広いことに大変驚いたと同時に、業務を通して様々な業界のことを学べるため興味深い仕事だと思いました。また、私たちは店頭や飲食店の食品を当たり前のように安全と思い購入し食べていますが、その背景には多くの人々が食の安全を支えてくれていることを知りました。

4月から食品衛生班に所属し、業務を通して新たな発見が多々あり、新鮮な日々を過ごしています。まだわからないことが多いためご迷惑をおかけすると思いますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## 10月の行事

令和ちゃんがまた秋を忘れたと評判のこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。極端な寒暖差で体調を崩すことも多いかと思しますので、お気をつけください。とはいえ、この投稿が実際に皆様の目に触れる頃にはすでに冬真っ盛りとなっていそうです。

さて、山口大学では去る10月5日、例年通り動物慰霊祭が執り行われました。ここ2年ほどは来場者および学生の参加人数を制限しての開催でしたが、今年度は無事かつての通りの開催をすることができました。動物慰霊祭は、大学にて実習や動物実験等で亡くなった動物たち、そして動物医療センターに来院したものの、治療の末亡くなってしまった伴侶動物たちを偲んで慰める行事で、毎年10月の第1水曜日に執り行われております。例年、飼い主様方を代表して、山口県獣医師会の会長にご挨拶をいただいております。今年も田中尚秋会長よりご挨拶を賜りました。よろしくないことではありますが、我々獣医師は仕事柄どうしても動物たちの死には慣れてしまうことが多く、学生だけでなく私達も一年の間に亡くなった動物たちを思い返す機会となっております。

10月にはもう一件、山口大学にて行事が行われます。10月末頃の日曜日に、全学を挙げてホームカミングデーという企画を開催しております。ホームカ

山口大学支部 上 林 聡 之

ミングデーとは、OBやその関係者を大学に招き、在校生や職員との交流を行うことを目的とする行事で、近年さまざまな大学が積極的に行っているものです。参加者については各大学様々ですが、山口大学では近隣の皆様との交流を行う会としても位置づけられ、どなたでも気軽にご参加いただけますので、学校関係者だけのイベントというわけでもありません。しかしながら非常に認知度が低く、会報編集委員会等にお尋ねしたところ、ご存じの方は誰もおられませんでした。今号に載っているご案内か、山口大学のウェブサイトより専用サイトをご覧ください。是非ともご参加いただき盛り上げていただけますと山口大学一同大変うれしく思います。今年度は残念ながらウェブ上でのコンテンツのみでの開催となりますが、山口における獣医学教育の歴史を、貴重なインタビューを交えて紹介する特別企画もあり、有意義なものに仕上がっております。オンデマンドでの後日の視聴も可能ですので、一度覗いてみてください。せっかく獣医学大学のある県ですから、このようなイベント等を通じて交流の幅をもっと広げていけると嬉しいですし、そこから新たな企画や、共同研究等ができることさらに山口県を盛り上げていけると思っています。



## 日本の性教育について

山口支部 中間 實徳

(東亜大学医療学部医療工学科獣医看護学コース客員教授  
山口大学名誉教授・元日本不妊学会関西支部評議員)

ネットに出ていましたのを紹介します。

最近、日本の教育機関での性教育の後れが指摘されています。文部科学省の性教育の方針では、中・高生への性教育では精子と卵子が合体して子供が出来るということは教えるが、その前の性行動については全く触れてはいません。動物では性成熟に達すると、雄は発情した雌を求めて性行為を行うという動物本来の行動をします。しかし、人間は理性をもって結婚という段階を経て性行為を行うのが一般的です。ところが、性情報の氾濫や社会状況の変化から、この歯止めも効かなくなってきており、望まぬ妊娠に悩む女性や性暴力等による妊娠の人工中絶や性感染の拡大など多くの問題が生じています。

女性にとって、このような望まない妊娠は人工中絶をするにしても、また妊娠を維持して分娩するにしても、その人の人生に精神的、身体的および経済的に大きな負担となります。

私は大阪の大学勤務中、日本不妊学会関西支部評議員をしており、泌尿器科や産婦人科の医師や動物を含めた繁殖学の学会に関わりを持っていました。東亜大学では動物繁殖学も教えています。

2021年1月27日の朝日新聞には「緊急避妊薬・人生を守るため市販を」という記事がありました。また2022年10月4日の同新聞の「正しい性知識・子どもは求めている」の記事を書かれた「包括的性教育」提言・有識者会議座長の佐藤拓代さんの記事によると、日本の性教育は「国際的なスタンダードからも大幅に後れを取っている」と指摘されています。また、提言では、「生殖器や性交を取り扱うことを説明する必要がある」とも訴えています。

「14歳からの生物学」(オランダのサリー・ヒル著)を監訳された松田良一先生(東京大学名誉教授・東京理科大学教授)と岡本哲治先生(広島大学名誉教授・東亜大学教授)の訳本(2020年9月白水社出版)は、オランダの中学生向けの本ですが、その第4章生殖には、男女の生殖器の図やコンドームの装着法など避妊法の具体的な方法を図解で示しています。

一方、日本では性感染症が蔓延しており、特に梅毒は人命にも関わる恐ろしい性病です。淋病に感染した男性は結婚後に子どもが出来ないという事実(男性不妊症の一原因)があります。性病を正しく理解し、感染しないように注意する必要があります。

以下に日本の性感染症を纏めた記事がインター

### 主な性感染症一覧

|            |          |                 |
|------------|----------|-----------------|
| 梅毒         | 尖圭コンジローマ | B型肝炎            |
| 淋菌感染症      | 脛トリコモナス症 | C型肝炎            |
| 性器クラミジア感染症 | ケジラミ症    | 後天性免疫不全症候群(エイズ) |
| 性器ヘルペス     | 性器カンジダ症  |                 |

メモ:

性感染症は複数の感染を被ることがある。またそのような時には、エイズのように免疫が低下する疾患に罹患しているかどうか念のためチェックする必要がある。

性感染症を思わせる症状があった時は、速やかに検査を行うことが望ましい。しかし、無症状のことも多いため、性感染症に罹患した可能性を考えた場合には症状の有無にかかわらず受診・検査を受けるようにした方が良い。ただし、HIV感染のように潜伏期間が長く、検査結果が陽性に出にくい時期のあるものもあり、検査結果が陰性であっても一定時間をおいて再検査を行った方が良い場合もある。

治療が中途半端になると再発を繰り返したり、悪化したりすることがあるので、自己判断で治療を中断したりしないようにする。

本人の検査結果が陽性の場合、できるだけパートナーの検査を行い、必要であればともに治療を行う。今、梅毒の感染が急激に増えています！

日本全国で7,000人以上が感染していて、1番多く感染しているのが男女ともに20代のかたです。(2021年12月現在)梅毒は、感染力がとても高く、1回の性交渉での梅毒感染率は約20%といわれています。

感染すると、性器やおしり(こうもん)、口にしこりができたり、からだにブツブツがあらわれたりします。そのあと、いったん症状が消えるので、治ったと思ってしまって、気づくのが遅れてしまうことがあります。

そのまま放置してしまうと、脳の病気や心臓の病気などのこわい病気の原因になります。突然からだにブツブツができれば、梅毒の検査をしましょう。

## お知らせ

## 中国地区産業動物講習会のご案内

- (公社) 島根県獣医師会から、次のとおり開催案内がありました。
- 日時：令和4年12月10日(土) 13:00~16:00
  - 会場：松江市民活動センター(スティック) 5階501・2研修室
  - 演題：「産業動物獣医療における遠隔診療～できること、したいこと～」
  - 講師：日本大学生物資源科学部獣医学科 獣医産業動物臨床学研究室 教授 堀北哲也 先生
  - 対象：中国地区獣医師会連合会の会員(参加費無料)
  - 参加申込：
    - (1) 令和4年11月30日(水)までに島根県獣医師会事務局へメールでお申し込みください。  
メールアドレス sva@amethyst.broba.cc
    - (2) メールには、件名に「令和4年度産業動物臨床講習会(中国地区)参加希望」と記載し、通信欄に  
①「会場参加・オンライン参加の別」 ②「獣医師会名」 ③「氏名」 ④「所属(勤務先)又は住所」  
⑤「連絡先」をご記入ください。
- ※受講申込メール受信後に確認メールを送信します。なお、3日経過後も確認メールが届かない場合は平日の日中に事務局(0852-24-2914)までご連絡ください。

## 第19回山口大学共同獣医学部附属動物医療センター総合臨床セミナー

- 山口大学共同獣医学部から、次のとおり開催案内がありました。
- 日 時：12月4日(日) 12:30~17:00
  - 会 場：山口大学吉田キャンパス・連産獣医学研究科棟4階大講義室
  - 教育講演：『局所麻酔プラクティス』 山口大学附属動物医療センター 伊藤晴倫先生
    - ・講義参加費：無料(ハンドアウト2,000円) 事前申し込み不要
    - ・実習参加費：10,000円 要事前申し込み 先着20名
  - ※実習参加希望者は、下記の問い合わせまでメールいただくか、氏名・所属・連絡先・FAX・メールアドレスを記載してFAXしてください。
  - お問い合わせ先：Fax:083-933-5930 E-mail: yuamec2@yamaguchi-u.ac.jp  
HP: <http://ds22v.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~yuamec1/>

①山口大学「馬救急医療実践力育成プログラム」【2023年度募集】  
②山口大学「馬予防医学実践力育成プログラム」【2023年度募集】

- 山口大学共同獣医学部から、2件の履修証明プログラムの募集案内がありました。  
履修資格やプログラムの内容等の詳細は、本会ホームページをご覧ください。
- プログラムの期間：①2023年4月1日~2024年3月31日(1年間)  
②2023年4月1日~2024年10月31日(7か月)
  - 募集人員：いずれも10名
  - 応募期間：いずれも2022年12月1日~2023年2月28日
  - 応募書類の提出先、問い合わせ先(\*土日祝日を除く9:00~17:00)  
山口大学共同獣医学部学務係 〒753-8515 山口県山口市吉田1677-1  
電話 083-933-5808 F a x 083-933-5812 E-mail vegakumu@yamaguchi-u.ac.jp

## 令和4年10月の主な行事

- 11月5日 ・産業動物講習会(防長苑)
- 11月8日 ・鶏病研究会山口県支部鶏病技術研修会(中部家畜保健衛生所)
- 11月11日~13日 ・アジア獣医師会連合(FAVA)大会(福岡市)
- 11月17日 ・第3回理事会(県獣会館)

## 事務局だより

- |                                    |                             |
|------------------------------------|-----------------------------|
| 10月1日 ・動物感謝デー(上野恩賜公園)              | 10月25日 ・会報編集委員会(県獣会館)       |
| 10月5日 ・山口大学動物慰霊祭(山口大学)             | 10月27日 ・和牛共進会(山口中央家畜市場)     |
| 10月9日 ・中国地区小動物講習会(岡山市 オンライン併用)     | 10月28日 ・ホルスタイン共進会(山口中央家畜市場) |
| 10月13日 ・県獣医師会館検討会議(県獣会館)           | 10月6日、20日 ・事業推進会議           |
| 10月17日 ・自由民主党山口県連 政策聴聞会(ホテルニュータナカ) |                             |
| 10月20日 ・第1回支部長会議(県獣会館)             |                             |

次回編集委員会 11月29日(火) 13:30~

山口県獣医師会会報 第738号 令和4年11月10日(毎月1回発行)

発行所 (公社)山口県獣医師会(〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1080-3)

電話 (083) 972-1174 FAX (083) 972-1554

e-mail: yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

<http://www.yamaguchi-vet.or.jp>

編集責任者 豊川 剛

発行責任者 田中 尚秋

印刷 コロニー印刷

ご加入の  
チャンスは  
年1回!!

# 獣医師



## 総合福祉生命共済事業 2023年度募集のご案内

病院開業会員・病院勤務会員および事務局専従役員の方のみ加入いただける生命保険です

申込締切日 **2023年1月20日** 保障開始日 **2023年4月1日**

### ポイント1

まとまった人数で  
加入することにより  
掛金がお手頃!



### ポイント2

医師の診査は不要!  
簡単な告知のみで  
お申込み可能!



### ポイント3

ご家族もご加入  
いただけます!

※ご本人の加入を条件に配偶者、  
お子さまもご加入いただけます。



### ポイント4

剰余金があれば  
配当金もお支払い  
します!

※剰余金が発生した場合に限ります。



### 保障内容と給付金額(1口100万円の加入例)

| 支払事由 | 病気による<br>死亡または高度障害 | 不慮の事故による<br>死亡または高度障害 | 不慮の事故による障害<br>(障害等級第1~6級) | 不慮の事故による<br>入院(5日以上) |
|------|--------------------|-----------------------|---------------------------|----------------------|
| 給付金額 | 100万円              | 200万円                 | 100万円~10万円                | 日額 1,500円            |

1口100万円単位で地方会一括加入事業と合算して15歳~65歳までは10口(死亡または高度障害保険金1,000万円)、66歳~70歳までは5口(死亡または高度障害保険金500万円)まで加入できます。

### 年払掛金表(1口100万円の掛金例)

| 保険年齢         | 15歳~35歳 | 36歳~40歳 | 41歳~45歳 | 46歳~50歳 | 51歳~55歳 | 56歳~60歳 |
|--------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 年払掛金<br>(概算) | 男性      | 4,471円  | 4,773円  | 5,274円  | 6,100円  | 7,346円  |
|              | 女性      | 3,900円  | 4,377円  | 4,645円  | 5,250円  | 5,972円  |

※記載の年齢は、保険年齢を使用しています。保険年齢は、更新日(2023年4月1日)現在の年齢を満年齢で計算し、1年未満の端数について6か月を超えるものは切り上げて、6か月以下のものは切り捨てます。

### 配当金実績(負担保険料に対する過去3年の実績です)

| 2021年度 | 2020年度 | 2019年度 |
|--------|--------|--------|
| 約20%   | 約19%   | 約11%   |

※毎年収支計算を行い剰余金が生じた場合に配当金としてご加入の会員にお支払いいたします。  
※配当金は支払時期の前年度決算により決定しますので、将来支払われる配当金額は現時点では確定していません。また、支払保険金の多寡などにより配当金は大きく変動します。

ぜひ、加入を  
ご検討ください!



※ご加入のご検討に際しましては、獣医師総合福祉生命共済事業のパンフレットを必ずご確認ください。

お問い合わせ先

公益社団法人 日本獣医師会 TEL 03-3475-1601 / 住友生命保険相互会社 TEL 0120-357-224

CG2022-0337

# 令和4年度 市民公開講座

12月11日(日)

13:30~15:30

主催：公益社団法人山口県獣医師会

## 演題「ヒトとイヌのつながり」

愛情ホルモンとも呼ばれる「オキシトシン」によるヒトとイヌの関係性についてお話ししていただきます

きくすい たけふみ

講師

菊水健史 先生

【麻布大学 獣医学部 介在動物学研究室 教授】

東京大学獣医学科卒。獣医学博士。  
麻布大学獣医学部介在動物学研究室教授。  
専門：行動神経科学 行動内分泌学、行動遺伝学  
動物における社会コミュニケーションとその中枢機能、  
遺伝基盤に関する研究に従事。

1994 三共（現第一三共）神経科学研究所研究員、  
1997 東京大学農学生命科学研究科（動物行動学研究室）助教  
2007 麻布大学獣医学部伴侶動物学研究室准教授、  
2009 同教授  
2017 同介在動物学研究室教授



会場

防長苑（山口市熊野町）

参加無料

定員

70名程度 ※お申込みが定員を超える場合は抽選とさせていただきます。

申込方法

メール、FAX又は郵便ハガキに次の事項を記入して、お申込みください。

①氏名 ②住所 ③郵便番号 ④電話番号（日中連絡がにつながる番号）

応募締切

令和4年 **12月1日(木)**まで（ハガキの場合は必着）

※参加される方は、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いします。

申込み・問い合わせ先

公益社団法人山口県獣医師会

〒754-0002 山口市小郡下郷1080-3

電話：083-972-1174（平日9～17時）

FAX：083-972-1554

ホームページ：http://www.yamaguchi-vet.or.jp/

メールアドレス：yama-vet@abeam.ocn.ne.jp

